

いもうとのともだち わたしだけのおにいさん

「おにいさんち

『このボクに勝てると思ったのオー!?♪』

んふふふ。また勝っちゃいましたあ。何度目でしたっけ？ 無限勝しょうゼロ敗はいですねえ。

お兄さんよわいなあ。あ、それとも私がうますぎるんですかね？ んっふふふ♪

あーあーあーっ、メンゴメンゴですっ、怒らないでくださいよお。

わかってますって、お兄さん手加減してくれてるでしょ？

ふふふ、そこんところの加減、お兄さんうまいなーって。

なのでー、私すっごい楽しいですよ。お兄さんとゲームするの。

勝っても負けても楽しいなんて、めっちゃよくないですか？ ねー！ ですよねー！

さーて、じゃあもう一戦やっちゃいます？

それとも休憩します？ ……そーですねえ、ちよつと目え疲れてきましたし。

ふう〜〜……。

そういやあ戻ってこないですね、サキちゃん。

……あゝ、そうなんですよね。あの子、電話始めちゃうと超〜長くて。

んふッ。はい、よく言ってますよー。

「深夜に通話しすぎて兄貴に壁ドンされるゝ、超うぜゝ」って。フフッ。

アハハハッ。私はあ、お兄さんのこと、うざいとか思いませんけどね？

サキちゃんのほうが非常識ですもーん。……フフ、いいんですいいんです。

ねえねえ。お兄さんって、サキちゃんとぜんぜん似てくないですか？

……いやマジっす。マジマジ。

物静かだしゝ、あと礼儀正しいしゝ。サキちゃんみたいにハキハキ喋らないし。

あっあ、ボソボソってわけじゃないですよ？ ふっーです、ふーっーう。

でもお、兄妹でこんなに性格が違うなんて……、

お兄さん、ほんとにサキちゃんのお兄さんなんですか？ クスッ♪ ンフフフッ♪

いやいやまあまああ、実は似てる、ってところもありますから。

……あ、知りたいです？ ええゝゝどうしよ。教えちゃおっかなあ。

お兄さんに教えるのはなんか恥ずかしいなあゝ。サキちゃんにもナイショにしてるし。

……そんなに知りたいんスカ？

くふっ♪ どうすんですか？ お兄さんが想像もつかないようなことだったら……？
てーか教えちゃったら、意識されちゃうじゃないですか。

ダメですよー。覆水盆かきすいぼんに返らず、つていいましし、

私が余計なことを言ってお兄さんの純度が失われるなんて、
心苦しいですう……。だからナイショです。フフフ♪

あでも、気にしないでくださいね？ 私からしたら、ぜんぜん欠点とかじゃないので。
むしろお、なんかこう、かわいい、みたいな？ えっへへ♪

……あ、はい、マジっす。マジ寄りのマジっす……！ ……クスクスクス♪

……てか、サキちゃんってばホントに戻ってこないですね。

あの子、「ティンスタ」とか「つぶやいたー」で知り合った人と、
よく通話してんですよ。ちょっと気が合う人いると、すぐ通話に走っちゃうんで。
もしかしてえ、……彼氏とかですかね？ w

……いやいやいやw まさかまさかもありえる話ですよ。今時ネット恋愛ふつーですし。
あっ、お兄さん、妹の恋愛事情が気になっちゃう系だったり？

……ええ、ほんとに……？

いやあ……まあ……、興味あつたらぶつちやけ……きもいですけどw ふふっw
ま、私は、お兄さんがどっちでも構いませんけどね？ ……はい♪

……。

あ………。おに……いさん。よかったら交換しません？ 「レイン」。

私はサキちゃんみたいに、ネット友と通話とかってあんまり興味ないんですよ。
でも、お兄さんとなら……してみたいなあって。

通話とかしながらあ、オンライン対戦してみたいです。だめですか？
あの子には内緒です。さすがにね。何言われるかわかったもんじゃないですし。

……わっわっわ、ほんと！？ あっすみません、ほんとですかあっ？
ありがとうございますお兄さんっ♪ うへへ……やあ、うれしいですねえ。
そういうの、断られるかなって正直思っていました。

お兄さんと私の関係って、妹の友達じゃないですか。

だから、連絡先の交換って、びみよ……な感情がいろいろあると思うんですよ。

……それとも、女の子とのそういうやつ、慣れたりします？

……クスッ♪ なあに慌ててんですかあ。いーですいーです。

お兄さんのゴニョゴニョした事情、私が暴いたって仕方ないじゃないですかあ。

あつすみません、じゃあ交換しちゃいましょうか。えーと、スマホスマホ……。

……………キヒッ♪

♡おにいさんに電話しちゃお

……あー、どうもどうもこんばんはお兄さん。倫道です。今なにしました？

あててあげましょうか。……暇してたでしょ？ んふふう、アハ〜W すんませ〜んW

ああ〜怒らないでください。んう〜、だってえー……。

お兄さんやさしいから、からかいたくなっちゃうんですよ。

それよりそれよりっ。どうですかあお兄さん。

なにつてゲームですよ。対戦しませんかあ？ あれからいろんなキャラ鍛えたので、

今日もボッコボコのボッコボコにして………えっ？ あ、……ああ、そう、ですか。

あの子から返信ないな〜と思ってたんですよ。フフ、そっかあ、ゲーム中でしたか。

3

あ、いいんですいいんです、なんでお兄さんが謝るんですか。

……ていうか、もしかしてあの子ってば、いま不機嫌じゃないですか？

だって、ひとりでゲームするっての、あんまりないですもん。

誰かに見てもらいながら、っていうのがあの子なので。

それに私にもメッセ返してこないってことは、まあつまりそういうことかなあって。

……ふふっ。そんなの全然すぐくないですって〜。私とサキちゃんは親友ですからっ！

お互いなんでもお見通し、みたいな？ あははは。

じゃ、気を取り直して雑談でもしましょうかあ？ んふふ。

いーですよ。私もヒマヒマのヒマワリなんです。ムダバナしましょうお。

あ、唐突ですけどお、お兄さんって彼女さんいますー？

……このまえお兄さんちで、ちょこ〜っただけ聞きましたよね。

異性と云々かんぬんみたいなの……ですです。

や〜っっぱりちよつと気になっちゃってえ……。

で、ぶっちゃけどうなんです。どうなんですかお兄さんっ。覚悟はできてますよっ。
なんの覚悟かわかりませんけどっ！w

……………なあ〜んだ、いないんだあ。へえ〜、意外ですねっ。
お兄さんモテそうなのにい♪

……………なんて、ベッタベタな台詞は聞きたくないですよね〜w
でもー、お兄さんって素敵ですよ〜？ いわゆる優良物件だと思いますよ〜。
アッ。あくまでっ！ 高校生の一般女子の意見ですけどねっ！

えっ、なんスカ。まさか照れてんスカ。えっえっえw お兄さんw
ちよつとちよつと、かわいいw あ、失礼しましたw

でもでも、そうなんです。いないんだあ。へえー。
今までデキたこともないんですー？ ……ほえ〜。

……………実は私もなんです。生まれてこの方、同級生とか好きになったことないんです。
……………えっ…………… あ、告白は、まあ、何回か……………人並みというか。
やー、告られたら好きになっちゃうって定説ありますが、私は範囲外ですね〜…………。

……………はい？ なんスカ？

……………へっ……………？ えっ、なに、を…………。

あつちよつちよつちよつ、ちよつ、カッかわつ、かわいくないですよオ！？
ど、どこがっ？ 私のどこがっ、かわついい、ってんですかっ？ えっ？？
あつちよ待って、言わないで、言っちゃダメです、ツゆ、言うなー！

ほんつつつと、なっ、なああにおバカなこと言ってんですかねえ、このお兄さんっ！
いやマジでお兄さん、お兄さんすぎますって、超お兄さんですねまったくも。
あ〜〜ちよ〜つとちよつとちよつとおおっ。

まさかまさかまさか、そーゆーのお、誰にでも言ってるんじゃないですか？
ダメですよ、マジでガチで。女子はそういうの嫌がつたりしますからねー？
わ、私は……………大丈夫ですけど。

……………いや大丈夫ですって。ほんとに！ 超お大丈夫。だいじょーぶいっ！ ですっ。
……………あの。なんなんですかお兄さん今日、ほんととなんかもう、もう〜ですよ！
アッ。いつもからかわれてるからって仕返しですかあ？ 子供じゃないんですからあつ。
あああ〜……………ううう、やっぱいいなあ、んんんん……………。

お兄さんにこんなところ見られるーいや聞かれるなんて、あああ……………迂闊でした。

だってそりゃ私、これでも年頃の女の子なんですよぉ……？
年上の男性に、かつ、かわいいとかッ……、言われたことないんですから。
耐性つてもんがないんですからっ。そこんところヨロシクですよ、ほんとにつ。

……てーかお兄さん……。いつも私のことそういう目で見てたりしました……？
お兄さんちでゲームしてる時も、……かわいいなあ、とか、思ってたんスか？
……やつやつ、べつに、悪い気はしないですけどお。
そーゆーの、ほら、なんか、意識しちゃうじゃないですか……。

前に私が、お兄さんとサキちゃんの似てるところゝ、って話したの覚えてます？
そこがお兄さんの魅力でもあるってやつ。
まさにあれですよ。口に出したら終わりなんですよお。「引き金」なんですうゝ。

……えっ……知りたいんですか……それ……。

まあ……私が言っちゃえば、おあいこにはなるか……な……？
いや待って、それはちよつとあの、いま、頭んナカ濁流みたいになってますし、
勢いで言っちゃってあとで後悔するやつですよつ。

夜に枕抱えてジタバタしちゃう類のやつですよつ。だからナイショですっ！

まゝゝったくお兄さん、ちよつと調子乗りすぎですよ。めっ！

なんですかあ、もしかして私と電話できて舞い上がってんじゃないですかあ？

あー！もしかしてお兄さん、……私のこと……好き、なんですかあ？

……クスッ……クスッあはははっ♪ その慌て方っw

まるつきり耐性ないじゃないですかっw もゝゝお、無理しないでくださいよつ。
私に齒向かうとこうなるんですからね？ 噛みしめてくださいねー？

んふっw あはっあはははは……。

あゝ、おつかしいw お兄さんとお話していると、ニヤニヤしちゃいます。

私のほうが妹に壁ドンされちゃいそつ。……あ、そーですよ、妹がふたりいます。
私、長女なんですよ。だから、お兄さんお姉さんに憧れてるところもあるかなって。

あゝの、お兄さんって、年下の女の子とか……イヤじゃないですか？

ほら、妹がいると、そういう価値観になったりするのかなって。

私の妹たちクソ生意気なんで、それに親からも言われますよ。ほら、アレ。

あんたは長女なんだから〜みたいなテンプレです。も〜うんざりですよ。

……ほえ〜。お兄さんって、そういうとこしつかりしてますねえ。

ああいえ、深い意味はないんですよ。長女長男としてどうなのかなあって思ったんで。

あつ……そう、ですねっ。私もお風呂まだなんで、はあい、いつてらっしゃい！

加えておやすみなさいですっ。またお話してくださいね。それじゃっ。

♡お寝坊さんのおにいさんっ

コケコッコー。おはよーございますお兄さんっ。ちゃんと起きてましたー？

クスッ、知ってます。サキちゃんからよく聞いてますよ。

休みの日の兄貴は昼まで起きてこないんだあ、って。

ねっね、モーニングコールですよこれ、女の子からのモーニングコール初体験ですねっ。

……あははは♪ お兄さんって寝起きはそんな声低いんだあ。へえー……。

て、ういかあの、ごめんなさいっ。もしかしてちよっと……ウザかったですか……？

……えっ、そ、そうですか？ あは♪ よかった♪

ちよっと迷いはしたんですけど、……お兄さん喜んでくれるかな、みたいな。へへ。

……あえ？ あっ、すみませんそうですね、いつてらっしゃいっ。

お顔すつきりしてくるの、待ってますねっ。あ、つなぎっぱなしで大丈夫ですよぉ〜。
は〜い。

……お兄さんの寝起きの声……聴いちゃった……。

いつもより低くて、ガサガサしてて……プライベート感マシマシ……。

フフフ……。あーあーだめ、あんまり考えると表に出てきちゃうよ……。

ふう〜……。

お兄さんいま……顔洗って、おトイレ済ませてるのかあ……。

どれくらいで頭が働き始めるのかな……？

つぶやいたーの最終更新が、昨日の23時47分だったから、ひゃー、
10時間以上寝てるんだ。寝すぎだよお兄さん。頭痛くなっちゃわないかな？

お兄さんって、体調崩したら誰に看病されてるんだろ。サキちゃん？

それともお母さん……？

私が付きっ切りになってあげたいなあ……。

でも、お兄さんが苦しむのは私も苦しいから、早く治ってくださいね……。

……。そろそろ服着よ。私のほうが体調崩しちゃう。

ごめんなさい、お兄さん。こんな格好で通話するなんて、私は悪い子です……。でも、お兄さんならきつと……許してくれますよね。

……………。

あつ。もしもし。おかえりなさいお兄さん。

わつ。声がいつものお兄さんだ！ お顔洗って生まれ変わったんですか？ w

ピアノアフターつくくらい違いますよw んうでもやっぱりこっちのほうが、私は馴染み深いので安心しますねえ。

あー、馴染み深いで思ったんですけど、お兄さん、未だに「さん」付け呼びはなんかよそよそしくないですかー？

いやー、そりゃ、初対面でいきなり下の名前で、

「ちゃん」付け呼びだったらドン引きですが。

お兄さんと私くらの仲だったら全然、いいんですよ？

あ、サキちゃんの前で呼ぶのはご遠慮願いたいですけどねw

でも、電話で「倫道さん」って、ふふつw

私は「お兄さん」呼びが一番しっくりくるんで、変えるつもりないですけどお。

ちよつとやってみてくださいいよっ♪ あ、私の名前わかります？

ヨモギです。倫道ヨモギ。じゃ、ほら、こっそり……！ レッツトライツ……！

……………、……………んふッ……♡♡♡

あつあつあつ、すみませんっ、ちよつとなんか、変な声出ちゃった。おかしくてw あああいやいやいや、バカにしたわけじゃないですからねっ？

いやいやマジで！ マジ寄りのマジっすからっ、だからもっかい！ もっかいだけ！

呼んでみてくださいいっ♪ 今度はもつとちゃんと、ふつう！ ふつう……に、

呼んでみて？ ね？

……、ん♡ はあい、ヨモギです。お兄さん♡

……。いやなんか、すみません、これちょっと、ツンふふ、やばいですね……。w
思いつきでやってみましたけど、めっちゃ悪いコトしてるみたいじゃないですか？w
ほんっとなんかもうごめんなさいです。インモラルな雰囲気ごめんなさいです。
……はいっ！ 反省しますっ。ただ、後悔はしてません！ 何事も挑戦です。
どんな結果になろうとも……このなんとも言えない空気感にも負けずにっ……。ふふふw

でも、お兄さん？ 朝の洗顔以上に、すっきりさっぱり冴えたんじゃないですか？
実は私の真の目的は、寝起きのお兄さんの頭を覚醒させることだったのです……。

……いや、「ふーん」って！ ふーんってなんですか！

わっ私がホラ吹き女みたいじゃないですかっ。ちーがーいーまーすー。
だってだってえ、んもおー、私、お兄さんと楽しくお喋りしたいんですー。

あ、ねえー、お兄さん？ 今日ウチ、誰もいないんですよ。

お兄さんちも誰もいないんでしょう？ サキちゃん今日お出かけらしいですしー。
ご両親もお仕事で夜まで帰ってこないって言ってましたし。つぶやいたーで。
だからあ、どれだけ騒いでもお互い怒られない状況にあるわけです。

……思いつきりっ。激しくっ。しましうよ。……あのゲーム♥

『私の勝利は、この世の必然なのだよ』

ぎゃああつ、まッ……また敗けた！ お兄さん、手ごわくなりましたね……！
ふいい……10勝10敗……マジで互角じゃないですか……。

あれからお兄さんも特訓したんですか？ 私に勝つために？

ふふっ……ふふふふっ。そうですか。いやいや、お兄さんを甘く見ていました。

お兄さんは、努力の人なんですネ。……素敵です。

サキちゃんは……接待プレイしないと不機嫌になっちゃうので。

お兄さんだったら、なんでも全力でぶつかれる気がします。

ふう……ちょっと疲れちゃいました。休憩しましょうか。

……あ、はあい、行つてらっしゃーい。ずっとぶつ通しでしたもんねえ。

はいはあい、例によってつなぎっぱなしで大丈夫ですー。

……。

……ほんとに素敵だよ……お兄さん……。

私に勝つために努力した？　つまりお兄さん、私と戦うために、……私のために、時間を割いてこのゲームを練習してたってこと？

お兄さんの時間が、私のために使われてた。

……ツんひ♥　だめだよお兄さん……そんなの、こんな私のためにさあ……。そんなやさしさを見せられたら私、おかしくなっちゃうよ……。

ねえ、お兄さん……。

ハねえおにいさん

お兄さん。もしもし。あー、やっと声聴けたあ。

最近お兄さん忙しそうだったから、電話するの控えてたんですよ。

……いえいえそんな、こっちこそありがとうございますです。えへへ。

あ、……いま、近くにあの子います？　いますよね。

あの子、今日機嫌がいいので、お兄さんをそばに置いてゲームしてるでしょ。

……やー、洞察なんて大袈裟です。言っただしょ？　彼女は親友ですもん。

それに……どうしても私、やってみたかったんですよ。

いまこの状況。このシチュエーションを。

私の言ってる意味、わかります？　……そうですか。じゃあヒントあげます。

いま彼女が対戦してる相手……私ですよ。

ああ待ってください、シーですよ、シー。適当に相槌打ってください。

実はですね、あの子、知らないんですよ。対戦相手が私だってこと。

私、つぶやいたーで新規アカ作って、正体を隠してフレンドになってるんです。

彼女、ゲームに熱中していると周りが見えなくなるので、バレやしません。

お兄さん……。こういうの、ドキドキしませんか？

妹の横で、妹の友達と通話するって。私は、憧れのシチュエーションでした。

いま夢が叶いました。うれしくて、いつもより多めにコントローラーを捌いております。胸もドキドキしっぱなしです。すぐドキドキしてます。

お兄さんはどうですか？　してますか？

いいほうのドキドキか、それとも悪いほうかは、あえて聞きませんけど。

ああ、勝っちゃった。弱いなあサキちゃん。
でも、ムキになってさらに周りが見えなくなります。好都合です。

私……お兄さんにですね、……真剣につ。聞きたいことがあったんですよ。
以前にも尋ねたことですが、今度は本当に、真剣にです。

ね。お兄さん。……私のこと、好きですか？ 異性として好きですか？

……すみません、困らせるつもりはないんです。
純粹に気になって、……いや、それが困らせるってことですよね。わかってます。

私、お兄さんのこと好きです。大好きです。とっても、心の底から、宇宙一、
何にも代えられないくらいお兄さんが好きです。

……はい。ずっと前からです。
連絡先交換したのも、モーニングコールしたのも、ぜんぶ……、好きだからです。

……切らないでくれて、ありがとうございます。
そんなのは大丈夫です。

私にとってゲームは、手足を動かすのと一緒にし、気にしないで。
もうこの際、言わせてください。ぜんぶ言わせて。

好き……。好きだよお兄さん。大好きだよ。ずっとあなたにメロメロなの。
初めて会ってお話したときから、もう、たまらなく、お兄さんの声、お兄さんの顔、
お兄さんの身体、お兄さんの性格、お兄さんの人柄、えとせとら。

お兄さんに可愛いつて言われて、あのとき私は、もう、もう、とても、幸せでした。
可愛いつて、こんな私が、妹の友達に過ぎない私が、可愛いつて、そんな、
最高最大の賛辞を、お兄さんからいただけるなんて。

そして、お兄さんに名前でもらったあの日。ヨモギちゃんって初めて呼ばれて、
私は、心の奥底から飛び出してきた感情を抑えられませんでした。
もし名前を連呼されたら、私は失神してしまうかもしれません。

……また勝ちました。本当に……サキちゃんは弱いですね。
お兄さんみたいに努力をしないからです。通話しながらでも余裕で圧倒できます。
お兄さんは私に勝つために、私のために時間を費やしたのに。

お兄さんは強いです。努力するって素敵です。もともと素敵だったのに、ああもう、これ以上魅力を増やしてどうすんですかお兄さん。

ふう……。

お兄さん……。私は今日、ふたつの意味で告白するつもりで電話しました。今からお話するのは、もうひとつの告白です。

……私、お兄さんに、彼女がいるかどうか聞いたことありましたよね。

あれ、ぜんぶ知ってましたよ。お兄さんに彼女がいないこと。できたこともないこと。知ったうえで質問しました。

どうしてだかわかりますか？

私がお兄さんに、彼女いますかって聞いて、いないよって答えてほしかったから。そのやり取りがしたかったからです。……余計なお手間をかけてごめんなさい。

あのやり取りを、あのお兄さんと交わした……。

その日の夜には、とてもいい夢を見れました。寝覚めの心地よさも過去一番でした。私は、お兄さんが私のために、人生の時間……人生を割いて私に接してくれるのが、たっ……まらなく、幸せです。

でも、そのためにお兄さんを利用しました。許してください。嫌わなくてください。これは、私なりの誠意です。包み隠さずに話しました。だから嫌わなくてください。

私、お兄さんのためならなんでもします。私はお兄さんのために生まれてきたんです。お兄さんと添い遂げるために、倫道ヨモギとして生まれてきたんですよ。

お兄さん。好きです。好き。好き、好きっ好きっ好きっ大好きっ大好きっ愛してますっ。ねえお兄さ——

らごめんなさいおにいさん

……ごめんなさい、ごめんなさい、ごめんなさい、ごめんなさい。
ごめんなさ——あ……お、お兄さん……。よかった……出てくれた……。

お兄さん、本当に、ごめんなさい。私が間違っていました。

……はい。あのあと、すぐ反省して、お兄さんに多大な迷惑をおかけしたこと、それに、ご不快な気持ちにさせてしまったと、後悔しました……。

あんな、あんなこと……急に言われても、困るし、怖いし、おかしいですよね。
あの、その、どうしても、どうしても伝えたくてっ。

お兄さんを好きだと、口にしてしまった瞬間……タガが外れた、というか。
抑えきれなくなっちゃったんです。

……もっ……、……申し訳ございませんでした。

こんな、こんな私は、お兄さんの前から消えるべきです。

しつこく何度も電話かけたのも、謝りたいのと、それをあなたに伝えるためでした。

お兄さん、本当にごめんなさい。さようなら……。

……あえ？ あ、おにい、さん、許してくれるんですか、お兄さん……。

ああ、ううう、ごめんなさい、ごめんなさいっ……。ありがとうございますっ……。

こんな見苦しい私を、……うう、ううう……。

私は、お兄さんと、サキちゃんと3人でゲームして、くだらないことで笑い合って、
みたいな、あの時間がすごく好きで……。もう二度とできないのかな、とか、
そういうことばかり考えちゃって、怖くて、怖くて、でもっ……よかった……。

お兄さんが許してくれて、……心の底から、安心しました。

私、サキちゃんを悪く言っただけでしたけど、あの子……、

お兄さんの陰口ばかり言うから、だから、反抗心みたいなのもあって。

ほんとは、サキちゃんのこと大好きなんですよ。

だからまた、みんなで遊びたいです。……はいっ！ しましうねっ。絶対に。

はああ……よかったあ……ほんとによかった。

……3人でゲームができなくなるっていうのも、すっごく怖かったけど……。

お兄さんと会えなくなるかもしれない。

それが、身を裂かれるように恐ろしかったです。

会いに来ました。家に入れてください。お話があります。

のもっかい もっかい もっかい

こんばんは。夜分遅くにごめんなさい。
はい。お邪魔します。お兄さん。

サキちゃんも、ご両親も、今日はいないんですね。知ってます。
……だから今夜、お兄さんが電話に出てくれて……本当によかったですよ……。
私、お兄さんと二人きりになりたかったんですから……。

……お兄さんの部屋に入るのは……初めてですね……。
お兄さんの匂いがします。……あ、いえ、なんでも……。

あ……すみません。ベッド、失礼します。
ふうー……。

用事は……まあ、いろいろですけど。

本当の私を……お兄さんに伝えるためにきました。
はい、ええと、以前電話でお話したことは、私のすべてではない、みたいな……。
よ、よくわかんないですね。ちゃんとお話しますね。

……お兄さんと、サキちゃんの似てるところ……。あれが、入り口だったりします。
何度もごまかしてきたけど、今なら言えます。言わせてください。
ああ、でも、全然大したことじゃないですよ。

ふたりの似てるところ……。

お兄さんも、サキちゃんも、私が目線を合わせると……。

スッ……と逸らすんです。

ううん、たぶん、私じゃなくても、目を合わせるのが苦手なんじゃないですか？
サキちゃんも、よく笑うし常にハイテンションだけど、
そこだけはコミュニケーションですね。

いくらふたりが違う人間性でも、そのクセはまったく一緒。
でもねお兄さん、似てるって部分は、私にとってどうでもいいことなんです。
サキちゃんが目を合わせなくても、私はなんとも思いませんし。

ただ……。私がお兄さんを見つめると、照れくさそうに眼を逸らすの……。もう――

かわいくて……かわいくてかわいくてかわいくてかわいくて。

ああああ好きツツ好き好き好き好き好きいいつつつ♥♥♥♥♥♥

……つて……なっちゃうんですよ……、……あつ……♥♥♥♥♥♥

いま……目、逸らしましたね？

……かああわああいいいいい……♥♥♥♥♥♥
お兄さん好きツ、好きツ、私もうその仕草がたまらなくて、いまはお兄さんのすべてが、
たまらない、愛おし……、

ツギ……ツ。

ツぐ……、はーっ、はーっ、はーっ、はーっ、はーっ……。

……すううう、はあああ……。

あはっ……あははは……。わかったでしょ。

私、頭おかしいんです。狂ってますよね。自覚してます。

自分でもわかってるのに、なんでこうなっちゃうんでしょうね。

私のほうが、目を逸らしたくなります。耳を塞ぎたくなります。

もうその、視線逸らしすら必要ない。

あなたの姿を見るだけで、声を聴くだけで、……私だけのお兄さん……♥

って気持ちになっちゃうんですから……。

……お兄さん……。一目惚れってしたことあります？

容姿だけじゃなくて、一言、言葉を交わしたとか。

私がお兄さんに惚れた理由が、それでした。

ただ、私のそれは、ふつうの人より、何億倍も感情が大きかったってわけです。
クソデカ感情って、最近いうじゃないですか。まさにあんな感じなんです。

……大したことじゃなかったでしょ？

ひとを好きになる理由って、そんなもんなんですね。

でも、困ったことに私は……吹っ切れないんですよ。

いくらお兄さんを好きという感情に、脳ミソをやられてしまっても……、
まだどこかに常識的な私が残っていて……、

お兄さんに迷惑をかけたくないって考えるんです。

私が距離を縮めようとするたび、お兄さんを怖がらせてしまう。

困らせてしまう。それはよくない、してはいけないことだ、そんな思考に陥るんです。
中途半端ですよ。ヤンデレって言葉がありますけど、

私は、それを名乗る資格すらなさそう……。

……ねえ……。どうして私を、家に入れてくれたんですか。

私と二人つきりになるの、怖くなかったんですか。

私がお兄さんの立場だったら、怖くて怖くて、そもそも電話にも出ないですよ。

……私が可愛いから、あわよくば、うまく制御して付き合ってしまったら、
考えてました？

私はそれでも、幸せです。お兄さんと一緒になれるから。

それとも、誠意をもって、私の告白を対面で断るつもりでした？

私はそれでも、幸せです。お兄さんにフラれるなら、何度でも告白できるから。

ああ……ほんつと、この口から出る言葉が、私自身、恐ろしくて仕方ないです。
呪詛みたいな告白しかできない。自己陶醉でしょうか。

私は、私に酔っぱらってるんでしょうか。お兄さんを好き、というこの感情すら、
疑ってしまいます。私はただ、お兄さんじゃなくて、お兄さんに、
友達のお兄さんに恋をする私に、恋してるだけじゃないか、って。

……涙も、出なくなりました……。

あんまり泣きすぎて、すっからかんのカラツカラになっちゃったので。

これで、私の話は終わりです。

……お兄さん。そろそろ……結論を出してもらえませんか……。

こんなことに巻き込まんじやって、本当に申し訳ないです、けど……。

私、さつきから、お兄さんを大好きな私に、もう、乗っ取られそうなんですよ。
今すぐお兄さんのなにかもを、食べてしまいたいような、そんな、気持ちなんです。

あああッ……あああお兄さんっ、なんで私を、この部屋に入れたんですかっ……？

こんなにお兄さんの匂いが充満した部屋、私を殺す気なんですかっ……？

お兄さんは、私のどこまでを理解して、どこまでを許容できるんですか。

お兄さん。あなたもある意味、狂ってますね。

鈍感ってわけじゃないでしょう。私の愛の重さくらい、わかるでしょう。

ああ……ああ……やめてよ、やめて、これ以上お兄さんを好きになったら私……。
苦しいよ、すごくっ……なんでこんな、ああ、私なんてっ……こんな私なんて、
生まれてこなければよかったのに――

ふやっ……!？ ツ……はぁーっ、はぁーっ……おに、いさん。
なに、してんスカ……こん、な、私を、抱きしめたら、わた、し、は……。

……あ、あ、あ、あ……？

あぁっ、あれっ？ グスッ……おかしいな？ 涙、枯れたと思ったのに、なんで、
あれあれ？ なんで、出るんだろ、あは、あははは……。

お、おにいさん……。グスッ……それ、ほんとに？

私が可哀想だから、あまりに不気味だから、そう言ってるんじゃないですよね？
わ、私は……騙されませんよ……？ お、お兄さんなんて、いつも、ほら、
私にからかわれてる側の、お、おっちょこちょいな、お兄さんなんです、から……。

……あう……。ほん、とうに……わ、私のこと……好き……なんですか……？
ふえあ……。……。あは、は……。あははは……。

……ありがとうございます……はい、私も大好きです……。
これから、その、よろしくお願いします。

……はいっ。もう大丈夫です。お兄さんのおかげで、冷静になりました。
……いわゆる常識的なほうの私が、しっかり生きてます。完全復活ですっ。えへへ。
だからもう、安心してくださいね。

……ふうう。あのお兄さんに抱き締められるなんて……なんかふわふわしますねえ。
あ、でも一度、離してもらってもいいですか？ うふふ、ちよっただけです。
あとでまた、いっぱい……ぎゅっしてしましょ？ ね？

ん……。ありがとうございます。

あの、……。えへへ……。♥ りよ、両想い……。ということ、改めて……。

名前で……呼んでくれませんか。今度は、……。呼び捨てで……。

め、目を瞑ってますからっ。視線合わせたくないですもんねっ。
い、いつでもどうぞ、……ふうウウ……。

……ッん……♡♡♡

ひいええ……これまでで一番……ドキドキします……あはは……。

なんか、ずっと正座していると足しびれるじゃないですか……。

あのしびれた感覚が、全身にクる感じ……伝わります？　へへ……。

……もっかい呼んでください。

……んえ♡　は、はい、ヨモギはここにいます。

もっかい。……ッもっかい。……う……もっかい……もっかい……♡♡♡

あ〜……♡♡♡　はい、お兄さん。お兄さんだけの、ヨモギです……♡♡

ふへへ……こ、これでお兄さんの攻撃は終わりですっ。

いま私、防御力ゼロなので、これ以上されたら壊れちゃいますからっ。

……で、お兄さん、私、改めてお兄さんに言っておきたいことがあるんですよ。

すなわちここからはッ、私の攻撃です！　フッフッフ♪

なにかわかりますー？　チツチツチツチツ……ぶーっ、時間切れ！

なんですかあ、もおー、いっぱい時間あげましたもんっ。

じゃー、教えてあげますねえ。お耳かっぽじって、よく聞いてくださいましですっ。

………。

……お兄さん……♡♡♡

私、お兄さんが……好きだって言ってくれるって、「知って」ました……♡

電話に出てくれることも、許してくれることも、両想いなことも、

なにもかも、ぜんぶ知ってました♡

……かわいかったですよ……。

天秤に揺られて葛藤する私に、一喜一憂するお兄さん……♡♡♡

えへっえへへへ……えへへへへっ♡♡♡　あはははははっ♡♡♡

ごめんなさい♡ 私、お兄さんに嘘ついちゃったあ♡♡♡

許してもらえるかなあ♡♡♡

きつと許してもらえますよね……ねえ、お兄さん??♡♡♡

お兄さんはやさしくて努力家だから、こんな私にもやさしくて、こんな私を、理解できるようにいっぱい努力してくれるはずです♡♡ね？ お兄さん？

いつもみたいに、ゆ、る、し、て？♡

あ~~~~目え逸らしたなあ~~~~♡♡♡ かあわあいいい~~~~♡♡♡

あれえ？ ちよつと待ってどこ行くんですかお兄さん♡♡♡

もう私い、なんにも我慢できませんよおお……♡

私だけのお兄さん……♡♡♡

い・た・だ・き・ま・す……♡♡♡

(終)